

市政記者各位

令和3年度 「福岡市博多湾ブルーカーボン・オフセット制度」の 実績報告

この度、令和3年11月1日～令和3年12月24日に販売したブルーカーボン・クレジットについて、カーボン・オフセット認証を行いましたので、お知らせいたします。

【販売クレジット数量】

48.5 t-CO₂ **完売**

販売収益（426,800円、税込）は「博多湾NEXT会議」でのアマモ場づくり活動をはじめ、博多湾の環境保全創造の取組みに活用しています。

【カーボン・オフセット認証実績】

	件数	数量 (t-CO ₂)
団体	12	42.5
個人	9	6.0
合計	21	48.5

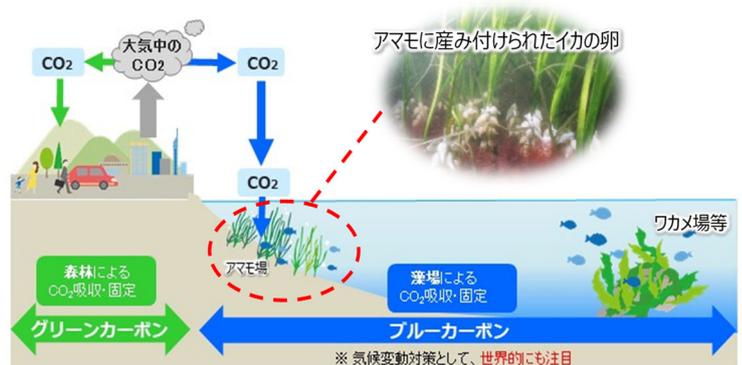
◆令和3年度のクレジットは、以下のような活動で排出されるCO₂排出量のオフセットに活用されています。

オフィスのエネルギー使用、ガソリン使用 など

【アマモ場の役割】

アマモは、地下茎や種子で増える海の中の植物「海草」です。

アマモ場は「海のゆりかご」と呼ばれ、魚のすみかや産卵場所として海域の生物多様性保全において重要なだけでなく、近年は二酸化炭素の吸収・固定に寄与する「ブルーカーボン生態系」としても注目されています。



2015年の国連総会で採択された持続可能な世界を実現させるための2030年までの国際目標です。本制度は、SDGsを支援しています。

<問い合わせ先>

港湾空港局港湾計画部 みなと環境政策課

担当：くはら 久原、大倉

電話：092-282-7153

令和3年度にクレジットをご購入いただいた団体（公表希望団体のみ掲載）

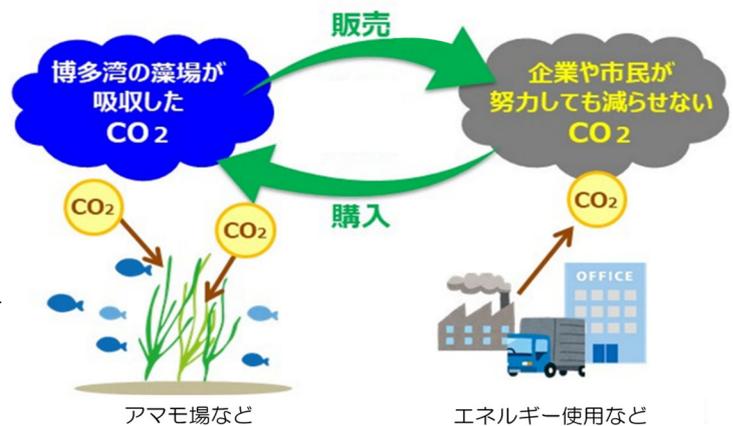
- 九州計測器株式会社
 - 株式会社 SNC
 - 東洋建設株式会社 九州支店
 - 株式会社 ピエトロ
 - 株式会社アイ・デベロップ・コンサルタンツ
 - 株式会社 東京久栄 九州支店
 - エコワークス株式会社
 - 西部瓦斯株式会社
 - 東亜建設工業株式会社九州支店
 - 一般財団法人九州環境管理協会
 - 西日本技術開発株式会社
- （順不同、敬称略）

《福岡市博多湾ブルーカーボン・オフセット制度》

福岡市では、博多湾のアマモ場などの藻場が吸収・固定した二酸化炭素量をクレジット化[※]した「博多湾ブルーカーボン・クレジット」を販売しています。

<クレジット化[※]>

温室効果ガス削減・吸収量を、決められた方法に従って数値化し取引可能な形態にすること。



《博多湾 NEXT 会議》

福岡市では、豊かな自然に恵まれた博多湾や博多港が、将来にわたって持続的に発展していくよう「港湾活動」と「環境の質の向上」の好循環の仕組みを推進しています。

平成30年5月に設立した博多湾NEXT会議は、市民、市民団体、漁業関係者、企業、教育、行政など多様な主体が連携し、豊かな博多湾の環境を未来の世代に引き継いでいくことを目的にした組織で、アマモ場づくりを中心とした博多湾の環境保全創造の取組みや、博多湾の魅力発信などに取り組んでいます。



ふくおか応援寄付でアマモ場づくりを応援

ふくおか応援寄付（福岡市ふるさと納税）でもアマモ場づくりを応援することができます。寄付の使い道として、『豊かな博多湾を次世代につなぐ「海のゆりかご」アマモ場づくり』を選択することで、アマモ場づくりなど、博多湾の環境保全創造の取組みを応援することができます。



チャレンジ！
脱炭素社会

環境シンボルキャラクター
「エコッパ」